

# 暮らしの瓦版

## 2009年8月号

### 「木造軸組工法の家」の魅力(1)

【音を響かせる・・・楽器】

バイオリンやピアノなどの弦楽器が

音を大きく響かせるために幅広い木部を必要としている事は、皆さんご存じのことでしょう。私たちが耳にする多くの弦楽器の音色は弦そのものから出ている音は少なく、大半は、弦から発せられた振動がこの木部によって響いているのが聞こえているのです。例えば、輪ゴムを指にかけ弾いてもそれほど音は出ませんが、それを固く薄い板状のものに引つけて弾くと大きく響くというのと同じ原理です。バイオリンやピアノは、発音当初から木によって製造されています。そして、名器と呼ばれるバイオリンなどは、何百年も弾き継がれ、さらに良い音になっていくと言われています。ではなぜ、数ある材料の中で「木」でなければならぬのでしょうか？

答えは、木には「軽いわりには強い」「組織に方向性がある」「加工しやすい」という特性があるからです。木が軽いわりには強いとどうなるかというと、音を早く伝えると同時に振動による力を効率よく音に変換できます。これは、木が音の反射材として優れている理由として挙げられるものです。この音を変換する度合いは、木目(木理)の方向によっても違ってきます。琴の材料であるキリで調査した場合、木目(木理)方向を1とすると、その直角方向の振動エネルギーの時間当たりの損失は約2倍となっていました。木目が音に与える影響はまだ解明されていませんが、どうも、木の組織の方向性によるほどよい振動の打ち消しが、まるでやかな音を作り出されているのではないかと考えられています。さらに、鉄やガラスなどと違って、木は加工しやすく、削って厚さを微妙に変えることも可能です。バイオリンの場合、表板にはスプルース、裏板にはカエデを使用しており、板厚の配分に気づかいつつ制作されるといわれています。また、楽器によって使われる樹種も決まっています。琴にはキリ、ピアノ内部の響板にはスプルース、クラリネットにはアフリカンブラックウッド、マリンバにはインディアンローズウッドなどを使用しています。



### 季節の風物詩 「はなび」



火薬と金属の粉末を混ぜて包んだものに火を付け、燃焼・破裂時の音や火花の色、形状などを鑑賞するものを花火といいますが、混ぜ合わせる金属の種類により様々な色合いを出しています。一般的にアジアの打上花火は、打ち上げ時に光が同心円状に広がるものが多く花火玉の形も球形ですが、欧米等の花火は打ちあげても円状にならず花火の形は円筒形。円筒形の花火は球形に比べ、華やかな光や色を出せても、破裂途中の色変化は困難だと言われています。

### 生活 「夏の思い出」尾瀬



「夏がくれば思い出出す」のフレーズで始まる「夏の思い出」で知られる尾瀬は「尾瀬国立公園」として、2007年、29番目の国立公園に指定された。日本でも新しい国立公園です。尾瀬国立公園は、関東及び東北の4県にまたがる山岳地に位置し、そして日本最大の山岳湿原である尾瀬ヶ原、只見川の源流にあたる尾瀬沼の2盆地と、その周囲に位置する百名山・至仏山、東北以北で最高峰を誇る燧ヶ岳、会津駒ヶ岳、田代山・帝釈山などからなる、面積約3万7千haにおよぶ国立公園です。尾瀬は活火山である燧ヶ岳の噴火活動によってできた湿原であり、ミズバショウやミズゴケなど湿原特有の貴重な植物群落が見られるなど自然の宝庫です。そのほぼ全域が国立公園特別保護地域および特別天然記念物に指定されており、既にある道以外の立ち入りが禁止されています。湿原としての重要性から「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」(ラムサール条約)が指定する湿地としても認定されています。

### 生活 「夏の健康トラブル解消法」



蒸し暑い夏は、様々な健康トラブルを招きやすい季節。体調不良の出発点となる夏バテや食中毒の対策をたて、暑い夏を乗り切りましょう。【夏バテ対策】夏バテには、高温多湿で体内の熱がうまく発散出来ない熱こもり型と冷房や冷たい飲み物の取り過ぎで体が冷える「冷え型」現代版夏バテ(特に女性に多い)があります。何れも食欲不振や消化機能の低下による栄養不足とエネルギー代謝の低下(疲労物質の蓄積)によって、身体機能の低下、慢性的な疲労感、抵抗力低下(夏カゼ)、持病の悪化などの体調不良を招き、健康トラブルの出発点になります。対策としてはビタミン・ミネラルなどの微量栄養素等不足する栄養素の補給、特にビタミンB群やクエン酸(疲労物質の分解などを担取しエネルギー代謝の改善を行います)が効果的です。【食中毒対策】夏は食中毒が多発する季節。家庭でできる食中毒予防のポイントについて解説します。①食中毒菌を食品につけない...手には様々な細菌が付着しています。調理の前には、まず石鹸で手をよく洗ひましょう。また食肉、魚介類等の生鮮食品には、食中毒を起す細菌がついていることがあります。食肉、魚介類を扱った後にも必ず手を洗い、同様に食肉、魚介類の下処理に使用したまな板を、未洗浄のまま他の食材に使用すると、他の食材に菌が移行(二次汚染)してしまったり、まな板、包丁等、器具類の洗浄も重要です。②食中毒菌を増やさない...多くの食中毒菌は、温度が高いと増殖のスピードが上がります。食品を冷蔵庫にしまうことで、菌の増殖を抑えることが可能です。食品は、こまめに冷蔵庫(庫内温度は4℃以下が理想)にしまいましょう。また調理済みの食品は、速やかに食べるようにしましょう。③殺菌...多くの食中毒菌は、加熱することで殺菌できます。加熱調理する食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。食中毒菌の中には十分加熱しても、細菌の出す毒素が分解されず食品中に残ってしまうもの(黄色ブドウ球菌など)や、冷蔵を徹底しても、非常に少ない菌量で発症してしまうもの(ノロウイルス)などもあります。しかし、この予防を守ることによって、食中毒を起す危険を最小限にすることが出来ます。

ほぼ全域にわたって木道が整備され、木道以外の場所を歩けないようにしてあるのも、尾瀬の特徴のひとつ。最初の木道が設置されたのは1950年代と言われ、当初、その目的は登山者を湿原のぬかるみから守るためのものでしたが、1960年代、尾瀬地域で最も標高の高い湿原のひとつであるアヤマ平が、単線の木道しか設置されていなかったために、行き違いが出来ず湿原に降りた多くの登山者が湿原を踏み荒らしてしまったりすることを契機に、湿原を登山者の踏みつけから守る目的で、尾瀬のほぼ全領域で計画的に複線の木道が整備され、木道以外の場所は歩けないようになりました(一部を除く。複線の木道は右側通行)。かつての木道は尾瀬周辺の木材が利用されていましたが、尾瀬地域が特別天然記念物に指定されるなど、この方法は使えなくなり、今は地域外の木材をヘリコプターなどで搬入し利用しています。材は樹脂が多く水分に浸された状態でも比較的長持ちする等の理由で、カラマツ材が使われることが多くなっています。1999年からは自然保護を理由に、乗合自動車以外の自動車の乗り入れが一部禁止されるなど規制は徐々に強化されています。また、尾瀬は「こみ持ち帰り運動」の元祖と言われるなど、自然保護運動が盛んです。美しい自然を多くの人々が永遠に楽しんでいくには、一人一人の小さな気遣いや心がけと、そんな気持ちを持って行動に移す勇気が必要かもしれません。

夏の健康トラブル対策は、食生活の改善と抵抗力の回復が重要なポイントです。ポイントを押さえ、元気に夏を過ごしましょう。

### 他山の石

#### 「名古屋城」

名古屋城は織田信長誕生の城とされる今川氏・織田氏的那古野城の跡周辺に、徳川家康が九男義直のために天下普請によって築城したとされ、以降は徳川御三家の一つでもある尾張徳川家17代の居城として明治まで利用されました。大坂城、熊本城とともに日本三名城に並び称され、伊勢音頭にも「伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ、尾張名古屋は城で持つ」と歌われ、大天守に上げられた金の鯨は、名古屋の象徴にもなっています。大小天守や櫓、御殿の一部は昭和初期までは現存していましたが、名古屋大空襲により天守群と御殿を焼失し、戦後に天守などが復元、再建されて今年で50周年。その城跡は現在、名城公園として整備されています。

16世紀の前半に今川氏親が、尾張進出のために築いたとされる柳ノ丸が名古屋城の起源とされ、後に、織田信秀が今川氏豊から奪取し那古野城と改名。織田信長はこの城で誕生。清須城に本拠を移すまで居城したと言われ、その後は廃城となっていました。清洲城は長らく尾張の中心でしたが、清須は土地が低く木曾川の氾濫や水攻めの恐れがあったため、敵を防ぎ味方を守るにふさわしくなく、多くの兵の駐屯にも適しませんでした。そこでの戦いに勝利し、天下統一の構想を進めていた徳川家康は、尾張平野の要衝にあり、陸海の連絡の利便性も良いことから、名古屋城の築城と清須からの遷府を決め、1610年、西国諸大名の助役による天下普請で築城が開始。来年で名古屋開府400年を迎えます。普請奉行は9名。石垣は諸大名で分担し、中でも最も高度な技術を要した天守台石垣は加藤清正が担当したといわれています。開府以降の名古屋は、モノづくり文化が花開き、商業、工業が栄えるとともに、近世武家文化も残る産業と文化が調和した大都市として発展を遂げてきました。現在も自動車、航空宇宙、工作機械、繊維機械、陶磁器、織物などの生産品目の全国シェアが高く、世界的なリーディング企業も多く集まっています。戦国時代のリーダーを多く排出してきたお国柄そのもの、先駆的、先進的な考えと取り組みで、元気なまちづくりで日本全体も盛り上げて欲しいと思います。

キタ (V) !!モト

修繕 リフォームから新築工事の建物の事  
 優良土地活用から物件探索の土地の事

北本建設株式会社

埼玉県北本市古市場3-131 TEL: 048-591-1234  
 URL: http://kitamoto.net/kitaken/ FAX: 048-591-0019

■暮らしのカレンダー-8月 ■葉月、秋風月、雁来月、観月、建酉月、壮月、竹春、月見月、燕去月、紅葉月

6日 広島原爆忌	9日 長崎原爆忌	15日 終戦記念日
7日 立秋	13日 お盆迎え火	23日 処暑

【8月】8月を葉月と呼び、その由来は諸説あります。木の葉が紅葉して落ちる月[葉落ち月][葉月]という説が有名。他、稲の穂が張る[穂張り月]、雁が初めて来る[初来月]、南方からの台風が多く来る[南風月]という説などがあります。英語名Augustは、ローマ皇帝アウグストゥスに由来。彼は紀元前1世紀、ユリウス暦の運用を修正し、8月の名称を自分の名に変更し、同時にそれまで30日であった8月の日数を31日にしました。